

令和7年度

学 生 募 集 要 項

【学校推薦型選抜】

(インターネット出願)



長崎県立大学

UNIVERSITY OF NAGASAKI

お問い合わせ先

長崎県立大学 学生支援課 学生グループ

【経営学部・地域創造学部】佐世保校

〒858-8580 長崎県佐世保市川下町123番地

Tel 0956-47-5703 / Fax 0956-47-4616

【国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部】シーボルト校

〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1

Tel 095-813-5065 / Fax 095-813-5222

【目 次】

インターネット出願	1
1. 理念と教育目的、学生受け入れ方針等	2
2. 募集人員	13
3. 出願要件等	13
4. 出願手続	21
5. 選抜方法等	25
6. 合格発表	32
7. 入学手続	33
8. 初年度納付金等	34
9. 入試情報の開示	36
10. 評価・合否判定基準	36
11. 個人情報の利用	40

インターネット出願

長崎県立大学ではすべての入試においてインターネット出願を導入しています。
調査書等、出願期間中に郵送が必要な書類がありますのでご注意ください。

■ 出願の流れ

1) 事前準備

パソコンまたはスマートフォンで大学ホームページ（本学 HP）の「インターネット出願はこちら」にアクセスし、インターネット出願システム「Post@net」のログインページから新規登録を行ってください。登録後、Post@net にログインし、長崎県立大学を選択し、『はじめに』から「インターネット出願ガイド」をダウンロードしてください。

2) 出願に必要な書類などを準備

「インターネット出願ガイド」を参照して、出願に必要な書類などを準備してください。なお、出願登録の際に、顔写真データ（JPG、3MB 未満）が必要になりますので、予めご準備ください（上半身／無帽／正面向き／背景無し／カラーで、出願前3か月以内に撮影したもの）。

3) 出願登録を行う

Post@net で本学を選択し、『出願』から画面の指示に従って登録内容を入力してください。

登録内容

①出願情報（入試区分・志望学部学科等）、②志願者情報、③検定料支払方法

※②の志願者情報入力後、【出願確認票（未入金）】をダウンロードしてください。

【出願確認票（未入金）】は学校の先生、保護者の方の確認用としてもご利用ください。

《支払方法》

◎クレジットカード ◎コンビニエンスストア ◎銀行ATM（ペイジー）

◎ネットバンキング（ペイジー）

4) 検定料を支払う

選択した支払方法に従って、**支払期限までに**検定料（17,000円）を支払ってください。

※別途、振込手数料（600円）が必要です。

5) 出願書類の印刷・郵送

検定料の支払い後、Post@net の『出願内容一覧』に入り、本学の『出願内容を確認』から、各種様式をダウンロードし、A4サイズの用紙で印刷してください。

本要項に記載されている出願手続きに従って、必要書類及び封筒等を準備し、学校でとりまとめのうえ、《出願書類提出期限》に間に合うように郵送してください。

6) 出願完了

(1) 長崎県立大学の理念と教育目的、学生受け入れ方針

◆長崎県立大学の理念と教育目的

長崎県立大学は、「人間を尊重し平和を希求する精神を備えた創造性豊かな人材の育成」、「長崎に根ざした新たな知の創造」、「大学の総合力に基づく地域社会及び国際社会への貢献」を基本理念として掲げています。

このため、人間を尊重し世界の平和を希求する精神を基本に、深い洞察力と実践力を備えた感性豊かな人材を育成します。また、理論と実践を融合した高度な教育研究を推進するとともに、長崎の地理的・歴史的・文化的特性を踏まえた新たな知の創造を目指します。

さらに、社会における諸問題に大きな関心を持ち、地域社会および国際社会に貢献できる人材を育成します。

◆学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

長崎県立大学は、大学の教育理念・目的を達成するために、本学の学位授与の方針やカリキュラム編成の方針を理解し、主体的かつ積極的に学ぶことができる以下のような人を求めています。

- 高等学校の教育課程で学習する内容に関する幅広い知識を有する人
- 高等学校の教育課程で獲得する知識やスキルを活用できる人
- 多様性を理解し、他者と協働する力を有する人
- 人や自然を尊重できる人
- 何事にも好奇心を持ち、積極的に挑戦したいと考えている人
- 目的をもって、忍耐強く努力したいと思っている人
- 長崎の歴史・文化や地域的特性に関心をもっている人
- 地域社会や国際社会に貢献したいと考えている人

また、長崎県立大学では、高大接続の観点を踏まえつつ、学部・学科の特性に応じて各種の選抜方法を実施します。

(2) 経営学部

【教育目的】

現代の国内外の企業経営に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で経営上の課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 経営に関する専門的・総合的な視野を備え、企業の経営における様々な課題を理解し、分析・解決できる人材
- 外国語を用いたコミュニケーション能力と国際的な視野を備え、グローバルに活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- 経営、マーケティング・流通、会計・簿記などに関心を持つ人
- 国際的に展開する企業活動や、日本企業の現場の仕組みに関心を持つ人
- 経営に関する企画・立案力を高めて、地域社会や国際社会の成長に貢献したい人
- 語学力向上に意欲を持ち、国際社会の中で活躍したい人

経営学部の入学者選抜においては、各学科の特色に応じて、各種の選抜方法を実施します。具体的な内容については、各学科のアドミッション・ポリシーで定めます。

<p>経 営 学 科</p>	<p>【教育目的】</p> <p>企業をはじめとする組織の経営に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で様々な企業等の課題に主体的に対応できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。</p> <p>○経営、マーケティング、会計等に関する知識・知見を有し、企業の各分野において活躍できる人材</p> <p>○事業を立ち上げるなどして地域で活躍できる人材</p> <p>○経営、会計等に関する知識・知見を有し、大学院に進学したり教員として活躍したりできる人材</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】</p> <p>教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経営に関する専門知識を学び、企業をはじめとする組織を立ち上げたり、企業等の成長に貢献したりしたい人 ●マーケティング・流通に関する専門知識を学び、小売・サービス・金融・運輸などの分野で活躍したい人 ●会計・簿記の専門的知識を学び、税理士や企業等の会計部門で活躍したい人 ●経営に関する企画・立案能力を高めて、地域社会の成長に貢献したい人 <p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般選抜（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（6教科7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価します。 ●一般選抜（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（6教科7科目）を課すとともに、小論文では、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●総合型選抜 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（4教科4科目）を課すとともに、小論文で、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力などの能力をみて、面接では、出願書類を参考
----------------	---

<p>経営学科</p>	<p>に、本学科で学修・研究したい地域課題への目的意識や意欲、高校時代にその課題に関わった経験等を見て、総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学校推薦型選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女特別選抜 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人特別選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生特別選抜 日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
<p>国際経営学科</p>	<p>【教育目的】 現代の企業経営に必要な知識・知見と実践力及び国際的な経営感覚を身に付け、グローバルな視点で様々な企業の課題に主体的に対応できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○経営に関する知識・知見及び外国語を用いたコミュニケーション能力を有し、東アジア地域をはじめ海外展開をする企業や団体に活躍できる人材</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国際的な経営に関する専門知識を学び、グローバルに活動する企業で活躍したい人 ●語学力向上に意欲を持ち、国際社会の中で活躍したい人 ●他国の人も協働しながら経営に関する企画・立案能力を高めて、国際社会の成長に貢献したい人 <p>【入学者選抜の基本方針】 一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般選抜（前期日程、後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（6教科7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価します。 ●学校推薦型選抜 個別学力検査等（英語）で、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女特別選抜 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人特別選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生特別選抜 日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

(3) 地域創造学部

【教育目的】

地域の発展に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で地域の課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 地域社会や地域経済が抱える様々な課題を専門的、総合的視野に立って理解し、分析・解決できる人材
- リーダーシップを有し、他者と協働して地域社会や地域経済のあり方を創造できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- 地域社会や地域経済の様々な課題について、それらの課題解決に向けて取り組むために必要な基礎的知識と探究への好奇心を身に付けている人
- 地域創造に関心を持ち、そのために必要な知識を理解し、論理的に表現できる能力を有する人
- 課題解決などに対して、主体的に他者と協働して取り組むコミュニケーション能力と、意欲を有している人

地域創造学部の入学者選抜においては、各学科の特色に応じて、各種の選抜方法を実施します。具体的な内容については、各学科のアドミッション・ポリシーで定めます。

公 共 政 策 学 科	<p>【教育目的】</p> <p>公共という視点に立って、政策の企画・立案及び評価に関する知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で地域の政策課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共政策に関する知識・知見を有し、地方自治体等において活躍できる人材 ○公共政策に関する知識・知見を有し、教員として活躍できる人材 <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】</p> <p>教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高等学校までに習得した知識・情報・探究力をつなぎ合わせて、地域社会の様々な問題について、筋道を立てて考え、文章化するなど、論理的に説明することができる人 ●学科の教育課程で学ぶ諸学問分野の知識を習得する上で基本となる理解力を有する人 ●公共の問題に関心を有し、地域社会の諸課題について多様な人々と積極的に話し合える柔軟性と主体性を有する人 <p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般選抜（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（6教科7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語又は数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●一般選抜（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（6教科7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価します。 ●学校推薦型選抜（県内離島高校区分を除く） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（5教科6科目）を課すとともに、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●学校推薦型選抜（県内離島高校区分） 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、集団面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲を個別に確認し、集団討論では積極性、協調性、論題についての理解力から、本学科が提供する専門分野に
-------------	---

<p>公共政策学科</p>	<p>対する適性などを見極め、総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●帰国子女特別選抜 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人特別選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生特別選抜 日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
<p>実践経済学科</p>	<p>【教育目的】 企業活動における企画・立案能力を有し、地域経済の動向を分析しその発展に寄与できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○経済学や地域経済に関する知識・知見を有し、地域企業において活躍できる人材 ○経済学や地域経済に関する知識・知見を有し、教員として活躍できる人材</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。 ●地域経済や企業動向などの分析による課題解決方法を学びたい人 ●経済学や地域経済に関する知識を学び、地域企業等で活躍したい人 ●地域企業のグローバルな事業展開に関心を持つ人</p> <p>【入学者選抜の基本方針】 一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般選抜（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（6教科7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語又は数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●一般選抜（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（6教科7科目）を課すとともに、小論文では、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●学校推薦型選抜（県内商業科等区分を除く） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（6教科7科目）を課すとともに、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●学校推薦型選抜（県内商業科等区分） 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女特別選抜 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人特別選抜 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生特別選抜 日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

(4) 国際社会学部

【教育目的】

国際社会及びメディアに関する知識と実践力を身に付け、グローバルな視野での課題解決能力及び情報発信能力を有する人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 現代社会が直面する諸課題をグローバルな視野でとらえ、地域社会や国際社会で活躍できる人材
- 高いコミュニケーション能力と情報収集・分析及び批判的・論理的思考能力を備え、自治体や企業の国際部門・メディア産業等で活躍できる人材
- 東アジア地域に関する知見を深め、グローバルな交流の促進や地域社会の発展に寄与できる人材
- グローバル社会やメディア社会に関する知識を有し、教員として活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- グローバル社会やメディア社会など現代の様々な特性や仕組みについて幅広い関心を持つ人
- グローバル化する地域社会における様々な問題を解決しようとする意欲を持つ人
- 現代社会におけるメディアの役割に関心を持ち、社会の様々な出来事に対して自らの考えを論理的に展開できる人
- 東アジアに関心を持ち、東アジア諸国を中心としたグローバルな交流の推進に貢献したい人
- 英語や中国語などの外国語による高いコミュニケーション能力を習得する意欲を持つ人

国際社会学部の入学者選抜においては、学科の特色に応じて、各種の選抜方法を実施します。

<p>国際社会学科</p>	<p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般選抜（前期日程、後期日程） <p>基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（6教科7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価します。</p> ●総合型選抜 <p>第1次選考では、出願書類に基づき、学科が求める学生像に合致しているか、学科を志望する理由が明確であるか、入学後の学習意欲や将来の展望が的確に示されているか、などの観点から評価します。</p> <p>第2次選考では、小論文で課題に対する理解力、論理的思考力、表現力などの能力をみて、面接では出願書類を参考に、目的意識、学習意欲、学科が提供する専門分野に対する適性などを評価します。</p> ●学校推薦型選抜 <p>小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> ●帰国子女特別選抜 <p>小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> ●社会人特別選抜 <p>小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> ●私費外国人留学生特別選抜 <p>日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p>
---------------	---

(5) 情報システム学部

【教育目的】

情報システムに関する知識と実践力を身に付け、高度情報化社会における課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- システム開発にかかる知識や技術を有し、情報技術分野で幅広く活躍できる人材
- 感性豊かな実践的創造力を有し、情報技術を駆使して創造的デザイン分野で活躍できる人材
- 情報セキュリティに関する知識や技術を有し、情報セキュリティ分野で活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- 情報技術、情報デザイン技術、情報セキュリティ技術に強い関心を持つ人
- 高度情報化社会における諸問題について解決を図ろうとする意欲を持つ人

情報システム学部の入学者選抜においては、各学科の特色に応じて、各種の選抜方法を実施します。具体的な内容については、各学科のアドミッション・ポリシーで定めます。

情報システム学科	<p>【教育目的】</p> <p>情報システムに関する広い視野と知識を備え、システム開発のプロフェッショナルとして活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○システム開発にかかる知識や技術を有し、情報技術分野で幅広く活躍できる人材 ○感性豊かな実践的創造力を有し、情報技術を駆使してデザイン分野で活躍できる人材 <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】</p> <p>教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●システム開発、プログラミング、ネットワークなどの情報技術に強い関心を持つ人 ●多様なコンテンツを制作する知識を深め、情報デザインのための技術や感性を高めた人 ●情報技術や情報デザイン技術の活用により問題解決を図ろうとする意欲を持つ人 <p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般選抜（前期日程、後期日程） <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（6教科7科目）を課すとともに、個別学力検査等（数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●学校推薦型選抜 <ul style="list-style-type: none"> 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女特別選抜 <ul style="list-style-type: none"> 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人特別選抜 <ul style="list-style-type: none"> 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生特別選抜 <ul style="list-style-type: none"> 本学科が示す要件等をすべて満たしていることを条件に、日本留学試験を課すとともに、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提として、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
----------	--

【教育目的】

情報セキュリティ全般にわたる広い視野と知識を備え、情報セキュリティのプロフェッショナルとして活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。
○情報セキュリティに関する知識や技術を有し、企業や行政などの情報セキュリティ分野で活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。
●情報セキュリティに関する基本的な知識・技術を修得し、情報セキュリティ分野で活躍したい人
●システム開発、プログラミング、ネットワークなどの情報技術に強い関心を持つ人
●情報技術の活用により問題解決を図ろうとする意欲を持つ人

【入学者選抜の基本方針】

一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。

●一般選抜（前期日程、後期日程）

基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（6教科7科目）を課すとともに、個別学力検査等（数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。

●学校推薦型選抜

小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

●帰国子女特別選抜

小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

●社会人特別選抜

小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

●私費外国人留学生特別選抜

本学科が示す要件等（日本留学試験を含む）をすべて満たしていることを条件に、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提として、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

(6) 看護栄養学部

【教育目的】

人々の健康な生活を支援するため、豊富な科学的・専門的知識の修得と、あらゆる年齢層のさまざまな健康状態の人々と接することができる豊かな人間性を持つ人材の育成を目指すとともに、健康科学の基礎と応用を総合化した教育研究を推進することにより、実践的問題解決能力を養い、地域の保健・医療活動を通して、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 看護師または管理栄養士として、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材
- 保健・医療・福祉の分野で、他職種と協働して専門的能力を発揮できる人材
- 看護の知識や技術が豊富な養護教諭または子どもたちの食育を担う栄養教諭として、教育現場で活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。

- いのちの尊さを理解し、まじめに努力する人
- 人に対する思いやりを持ち、人の苦しみを共有できる人
- 科学を重視し、適確に物事を行える人
- 社会制度の変化に敏感かつ適正に対応できる人
- 協調性があり、他の職種の人々とチーム医療のできる人

看護栄養学部の入学者選抜においては、各学科の特色に応じて、各種の選抜方法を実施します。具体的な内容については、各学科のアドミッション・ポリシーで定めます。

看護学科	<p>【教育目的】 生命の尊厳と人権を尊重し、人間を深く理解し根拠に基づき行動する看護師や養護教諭として活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○人々の健康ニーズ(健康増進、疾病予防・早期発見、健康回復、安寧な人生の看取り)に対応できる基礎的看護実践能力を有する看護師 ○保健・医療・福祉の分野で看護サービスの質向上に寄与できるリーダーシップの基礎的能力を有する看護師 ○看護の専門性を備えた教育職として活躍できる養護教諭</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。 ●看護を通して、人々の健康生活に貢献したいと思っている人 ●物事を科学的に探究し、積極的・主体的に学ぶ姿勢がある人 ●看護学への学習意欲を持ち、専門性の高い看護職になりたいと希望している人 ●さまざまな世代の人々と、柔軟にコミュニケーションがとれる人 ●他者を尊重する姿勢を持ち、協働して活動できる人</p> <p>【入学者選抜の基本方針】 一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般選抜（前期日程、後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（6教科7科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価し、面接では、調査書等の出願書類を参考に、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価します。</p>
------	---

<p>看護学科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●学校推薦型選抜（離島看護師特別枠を除く） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（6教科7科目）を課すとともに、面接では、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、論理的思考力、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価します。 ●学校推薦型選抜（離島看護師特別枠） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（6教科7科目）を課すとともに、面接では、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、本学科が提供する専門領域に対する適性、離島医療に対する貢献意欲等を総合的に評価します。 ●帰国子女特別選抜 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価します。 ●社会人特別選抜 小論文で、高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価します。 ●私費外国人留学生特別選抜 本学科が示す要件等（日本留学試験を含む）をすべて満たしていることを条件に、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提として、提示した素材により、理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、日本語による会話的表現力、本学科が提供する専門領域に対する適性等を評価し、志望理由書を参考に、志望動機、学習意欲、表現力、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価します。
<p>栄養健康学科</p>	<p>【教育目的】 健康社会実現のために社会の幅広い分野で貢献できる栄養専門家として活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○地域の人々の健康作りの担い手としての管理栄養士 ○高齢社会の食を支える管理栄養士 ○臨床現場で他のスタッフと連携・協働して栄養マネジメント・アセスメントを実践できる管理栄養士 ○特定給食施設で栄養マネジメントを実践できる管理栄養士 ○食品開発、食糧資源の有効利用、食品衛生管理者などの資格を活かせる管理栄養士 ○次世代社会の子どもたちの食育を担う栄養教諭</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 教育目的を達成するために、高等学校の教育課程相当の教科・科目を広く修得し、自らが学ぼうとする分野の基礎となる知識を身に付けていることに加え、以下のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●身近な「食と健康」を通して健康・福祉社会の創出に貢献したい人 ●保健・医療・健康分野や県や市町村などの管理栄養士を志す人 ●食品開発、食品の安全性や機能性などに興味を持っている人 ●子供たちの食育を通して健康生活づくりに寄与したい人 ●生命科学に根ざした「食と健康」を科学するスペシャリストになりたい人 <p>【入学者選抜の基本方針】 一般選抜（前期日程、後期日程）のほか、学校推薦型選抜などを実施し、以下に示す評価方法を多角的に活用することで多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般選抜（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（6教科8科目）を課すとともに、個別学力検査等（化学基礎・化学）では、高等学校で得た化学の基本的な知識と理解力について評価します。 ●一般選抜（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入学共通テスト（6教科7科目）を課すとともに、個別学力検査等（化学基礎・化学）では、高等学校で得た化学の基本的な知識と理解力について評価し、面接では、志望動機や将来の展望などとともに、高等学校の一般的学習を前提とした栄養・健康・生命科学に関する時事的諸問題についての理解力や理科学的思考などを総合的に問います。 ●学校推薦型選抜 課題文読解型（和文及び英文）の小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的

<p>栄養健康学科</p>	<p>思考力、表現力等を評価します。</p> <p>さらに、面接では、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価し、小論文の評価と合わせて合否を判断します。ただし、一定の基礎学力を有する者が対象となります。</p> <p>基礎学力は、大学入学共通テスト（6教科7科目）で評価します。</p> <p>●帰国子女特別選抜</p> <p>課題文読解型（和文及び英文）の小論文で、日本の高等学校の教育課程で習得される程度の基礎学力を前提として、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。</p> <p>●社会人特別選抜</p> <p>課題文読解型（和文及び英文）の小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。</p> <p>●私費外国人留学生特別選抜</p> <p>本学科が示す要件等（日本留学試験を含む）をすべて満たしていることを条件に、小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提として、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価し、面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。</p>
---------------	--

2. 募集人員

(単位：人)

学部	学 科	募集人員	区 分				
			長崎県内高等学校			長崎県外高等学校	
			普通科等	商業科等	離島高校	普通科等	商業科等
経営	経 営	45	20	10		10	5
	国 際 経 営	20	12			8	
地域創造	公 共 政 策	30	15		5	10	
	実 践 経 済	45	25	5		15	
国際社会	国 際 社 会	19	15			4	
情報システム	情報システム	12	10			2	
	情報セキュリティ	20	20				
看護栄養※	看 護	16	16 (離島看護師特別枠3を含む)				
	栄 養 健 康	10	10				

※看護栄養学部は長崎県内高等学校のみとなります。

※県内・県外の別は志願者の在籍している高校の所在地（都道府県）によって判断します。

なお、通信制高校の場合は、本校の所在地によって判断します。

3. 出願要件等

(1) 経営学部

1) 経営学科

①～④のすべてに該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校*¹又は専修学校の高等課程の長が責任を持って推薦できる者

(※1) 高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該過程を含みます。

①「県内」枠は長崎県内、「県外」枠は長崎県外の高等学校*¹又は専修学校の高等課程を令和7年3月卒業見込みの者

②調査書の全体の学習成績の状況が**3.8以上**の者

③次の(ア)又は(イ)の区分に応じ、それぞれの要件を満たす者

(ア) 普通科等

普通科のほか、理数科、英語科など本学が普通科に準ずると認める学科及び次項の(イ)商業科等の区分に属さない学科を対象とする。(商業に関する科目を20単位以上修得した者(又は修得見込みの者)は、商業科等の区分での出願となる。)

「大学入学共通テスト」(経営学科一般選抜前期日程試験と同教科・科目)を受験する者

※「大学入学共通テスト」の結果は合否判定には用いない。ただし、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。

大学入学共通テスト（6教科7科目）							
教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報
出題科目	『国語』	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『地理総合／歴史総合／公共』	『公共、倫理』 『公共、政治・経済』	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	『情報Ⅰ』 から1科目

※「外国語」の『英語』は、リスニングを含む。

(イ) 商業科等

この区分は、商業高校の全科を含む。また、総合学科等に所属し、商業に関する科目を**20単位以上**修得した者（又は修得見込みの者）を対象とする。

※総合学科以外の学科でも、商業に関する科目を**20単位以上**修得した者（又は修得見込みの者）は、商業科等の区分での出願となる。

次の i. ～iii. のいずれかに該当する者

- i. 日本商工会議所主催簿記検定試験 2 級以上
- ii. 日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定 2 級以上
- iii. 全国商業高等学校協会主催検定試験 1 級合格 4 種目以上

- ④志願者は、本学の学校推薦型選抜に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者

○ 1 校当たりの推薦できる人数

- ①「普通科等」は、1 校（分校を含む）につき **3 名以内**とする。

※同一校内に複数の課程（全日制、定時制、通信制）がある場合においても同様とする。

- ②「商業科等」は、推薦できる人数の制限をしない。

2) 国際経営学科

- ①～④のすべてに該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校^{※1}又は専修学校の高等課程の長が責任を持って推薦できる者

(※1) 高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該過程を含みます。

- ①「県内」枠は長崎県内、「県外」枠は長崎県外の高等学校^{※1}又は専修学校の高等課程を令和 7 年 3 月卒業見込みの者

- ②調査書の「外国語」(英語)の学習成績の状況が **4.3 以上**の者

- ③次の (ア) 又は (イ) のいずれかに該当する者

(ア)「大学入学共通テスト」(国際経営学科一般選抜前期日程試験と同教科・科目)を受験する者

※出願要件③(ア)に該当する者は「大学入学共通テスト」における『英語』の得点率を合否判定に利用する。(詳しくは 25 ページの選抜方法を参照)

- (イ) 次の i. ～viii. の資格・検定試験のいずれかのスコアを有する者

- i. ケンブリッジ英語検定 140 以上 (※2)
- ii. 実用英語技能検定 2 級 1950 以上 (※3)
- iii. GTEC (Basic, Advanced, CBT) 930 以上 (※4)
- iv. IELTS 4.0 以上 (※5)

v. TEAP	225 以上
vi. TEAP CBT	420 以上
vii. TOEFL iBT	42 以上
viii. TOEIC L&R	550 以上

(※2) 対象となる試験は、A2 Key, B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。

(※3) 準1級 1980 以上、1級 2304 以上でも可。指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。

(※4) GTEC(Basic, Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。

(※5) IELTS は、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。

④志願者は、本学の学校推薦型選抜に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者

○1校当たりの推薦できる人数

制限しない

(2) 地域創造学部

1) 公共政策学科

I. 県内離島高校区分を除く全ての区分

①～③のすべてに該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校^{※1}又は専修学校の高等課程の長が責任を持って推薦できる者

(※1) 高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該過程を含みます。

①「県内」枠は長崎県内、「県外」枠は長崎県外の高等学校^{※1}又は専修学校の高等課程を令和7年3月卒業見込みの者

②調査書の全体の学習成績の状況が**3.8以上**の者

③志願者は、本学の学校推薦型選抜に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者

※この区分は「大学入学共通テスト」の結果を合否判定に利用する。(詳しくは26～27ページの選抜方法を参照)

○1校当たりの推薦できる人数

1校(分校を含む)につき**3名以内**とする。

※同一校内に複数の課程(全日制、定時制、通信制)がある場合においても同様とする。

II. 県内離島高校区分

①～③のすべてに該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校(特別支援学校の高等部及び中等教育学校を含む:以下、同じ)の長が責任を持って推薦できる者

①長崎県内の離島(離島振興法に規定する地域)の高等学校を令和7年3月卒業見込みの者(定時制課程も1高等学校とみなす。)

②次の(ア)及び(イ)のいずれにも該当する者

(ア) 調査書の全体の学習成績の状況が**4.0以上**、かつ「国語」「数学又は商業」、「外国語」の**3教科の学習成績の状況の平均が4.0以上**の者

(イ) 志望学科に対し適性を有する者で、学習を含めた学校内外の活動に意欲的に取り組んだ者

③志願者は、本学の学校推薦型選抜に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者

○1高等学校当たりの推薦できる人数

1高等学校につき**1名**とする。

※「**県内離島高校区分**」に出願した者は、公共政策学科県内高校区分に併願することができる。併願先の区分において、1高等学校当たりの推薦できる人数は、**枠外**の扱いとする。

2) 実践経済学科

①～④のすべてに該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校^{※1}又は専修学校の高等課程の長が責任を持って推薦できる者

(※1) 高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該過程を含みます。

①「県内」枠は長崎県内、「県外」枠は長崎県外の高等学校^{※1}又は専修学校の高等課程を令和7年3月卒業見込みの者

②調査書の全体の学習成績の状況が**3.8以上**の者

③次の(ア)又は(イ)の区分に応じ、それぞれの要件を満たす者

(ア) 県内普通科等及び県外高校

普通科のほか、理数科、英語科など本学が普通科に準ずると認める学科及び下記の

(イ) 県内商業科等の区分に属さない学科に所属する者を対象とする。

(長崎県内の総合学科等に所属し、商業に関する科目を20単位以上修得した者(又は修得見込みの者)は、県内商業科等の区分での出願となる。)

※この区分は「大学入学共通テスト」の結果を合否判定に利用する。(詳しくは27～28ページの選抜方法を参照)

(イ) 県内商業科等

この区分は、長崎県内の商業高校(全科を含む。)又は、長崎県内の総合学科等に所属し、商業に関する科目を20単位以上修得した者(又は修得見込みの者)を対象とする。

※総合学科以外の学科でも、商業に関する科目を20単位以上修得した者(又は修得見込みの者)は、商業科等の区分での出願となる。

次のi.～v.のいずれかに該当する者

- i. 日本商工会議所主催簿記検定試験2級以上
- ii. 全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験第1級
- iii. 情報処理技術者試験 レベル1 (ITパスポート試験)以上
- iv. 全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験第1級
- v. 以下に示す英語の「資格・検定試験」のいずれかのスコアを有する者
 - ・ケンブリッジ英語検定 140以上(※2)
 - ・実用英語技能検定2級 1950以上(※3)
 - ・GTEC (Basic, Advanced, CBT) 930以上(※4)
 - ・IELTS 4.0以上(※5)
 - ・TEAP 225以上
 - ・TEAP CBT 420以上
 - ・TOEFL iBT 42以上

(※2) 対象となる試験は、A2 Key, B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiencyとする。指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。

(※3) 準1級1980以上、1級2304以上でも可。指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。

(※4) GTEC (Basic, Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。

(※5) IELTSは、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。

④志願者は、本学の学校推薦型選抜に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者

○1校当たりの推薦できる人数

①「**県内普通科等及び県外高校**」は、1校(分校を含む)につき**3名以内**とする。

※同一校内に複数の課程(全日制、定時制、通信制)がある場合においても同様とする。

②「**県内商業科等**」は、推薦できる人数の**制限をしない**。

(3) 国際社会学部

1) 国際社会学科

①～④のすべてに該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校^{※1}又は専修学校の高等課程の長が責任を持って推薦できる者

(※1) 高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該過程を含みます。

①「県内」枠は長崎県内、「県外」枠は長崎県外の高等学校^{※1}又は専修学校の高等課程を令和7年3月卒業見込みの者

②調査書の全体の学習成績の状況が**3.8以上**の者

③次の(ア)又は(イ)のいずれかに該当する者

(ア)「大学入学共通テスト」(国際社会学科一般選抜前期日程試験と同教科・科目)を受験する者

※「大学入学共通テスト」の結果は合否判定には用いない。ただし、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。

大学入学共通テスト (6教科7科目)							
教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報
出題科目	『国語』	『地理総合, 地理探究』 『歴史総合, 日本史探究』 『歴史総合, 世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』	『公共, 倫理』 『公共, 政治・経済』	『数学Ⅰ, 数学A』 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	『物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	『情報Ⅰ』
		から1科目			から1科目		

※「外国語」の『英語』は、リスニングを含む。

(イ) 次の i. 又は ii. のいずれかに該当する者

i. 次の資格・検定試験のいずれかのスコアを有する者

- ・ケンブリッジ英語検定 120以上 (※2)
- ・実用英語技能検定準2級 1700以上 (※3)
- ・GTEC (Core, Basic, Advanced, CBT) 680以上 (※4)
- ・IELTS 4.0以上 (※5)
- ・TEAP 135以上
- ・TEAP CBT 235以上
- ・TOEFL iBT 42以上
- ・TOEIC L&R 450以上

(※2) 対象となる試験は、A2 Key, B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency とする。指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。

(※3) 2級 1728以上、準1級 1980以上、1級 2304以上も可。指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。

(※4) GTEC(Core, Basic, Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。

(※5) IELTSは、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。

- ii. 次の資格・検定試験のいずれかのスコアを有する者
 - ・中国語検定（中検） 4級以上
 - ・HSK（2010年度以降受験） 3級以上（※6）
 - ・TECC公開試験スコア 380点以上
 （※6）HSK 5級・6級については、300点満点の6割（180点）以上
- ④志願者は、本学の学校推薦型選抜に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者

○1校当たりの推薦できる人数

1校（分校を含む）につき県内校3名以内、県外校2名以内とする。

※同一校内に複数の課程（全日制、定時制、通信制）がある場合においても同様とする。

（4）情報システム学部

1）情報システム学科

①～④のすべてに該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校※¹又は専修学校の高等課程の長が責任を持って推薦できる者

（※1）高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該過程を含みます。

①「県内」枠は長崎県内、「県外」枠は長崎県外の高等学校※¹又は専修学校の高等課程を令和7年3月卒業見込みの者

②調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者

③次の（ア）又は（イ）のいずれかに該当する者

（ア）「大学入学共通テスト」（情報システム学科一般選抜前期日程試験と同教科・科目）を受験する者

※「大学入学共通テスト」の結果は合否判定には用いない。ただし、受験しなかった場合（受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。）は、合格発表後であっても合格を取り消す。

大学入学共通テスト（6教科7科目）							
教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報
出題科目	『国語』	『地理総合、 地理探究』 『歴史総合、 日本史探究』 『歴史総合、 世界史探究』 『地理総合／歴史総合／公共』 から1科目	『公共、倫理』 『公共、 政治・経済』	『数学Ⅰ、数学 A』 『数学Ⅱ、数学 B、数学C』	『物理基礎 ／化学基礎 ／生物基礎 ／地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』 から1科目	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	『情報Ⅰ』

※「外国語」の『英語』は、リスニングを含む。

（イ）情報処理技術者試験 レベル1（ITパスポート試験）以上の試験に合格している者

④志願者は、本学の学校推薦型選抜に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者

○1校当たりの推薦できる人数

1校（分校を含む）につき3名以内とする。

※同一校内に複数の課程（全日制、定時制、通信制）がある場合においても同様とする。

2) 情報セキュリティ学科

①～④のすべてに該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校^{*1}又は専修学校の高等課程の長が責任を持って推薦できる者

(※1) 高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該過程を含みます。

①日本国内に所在する高等学校^{*1}又は専修学校の高等課程を令和7年3月卒業見込みの者

②調査書の全体の学習成績の状況が**4.0以上**の者

③次の(ア)又は(イ)のいずれかに該当する者

(ア)「大学入学共通テスト」(情報セキュリティ学科一般選抜前期日程試験と同教科・科目)を受験する者

※「大学入学共通テスト」の結果は合否判定には用いない。ただし、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。

大学入学共通テスト (6教科7科目)							
教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報
出題科目	『国語』	『地理総合, 地理探究』 『歴史総合, 日本史探究』 『歴史総合, 世界史探究』 『地理総合/歴史総合/公共』 から1科目	『公共, 倫理』 『公共, 政治・経済』	『数学Ⅰ, 数学 A』 『数学Ⅱ, 数学 B, 数学C』	『物理』 『化学』 『生物』 『地学』 から1科目	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	『情報Ⅰ』

※「外国語」の『英語』は、リスニングを含む。

(イ) 情報処理技術者試験 レベル2 (基本情報技術者試験又は情報セキュリティマネジメント試験) 以上の試験に合格している者

④志願者は、本学の学校推薦型選抜に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者

○1校当たりの推薦できる人数

1校(分校を含む)につき**4名以内**とする。

※同一校内に複数の課程(全日制、定時制、通信制)がある場合においても同様とする。

(5) 看護栄養学部

1) 看護学科

I. 離島看護師特別枠を除く区分

①～③のすべてに該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校^{*1}又は専修学校の高等課程の長が責任を持って推薦できる者

(※1) 高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該過程を含みます。

①長崎県内の高等学校^{*1}又は専修学校の高等課程を令和7年3月卒業見込みの者

②調査書の全体の学習成績の状況が**3.8以上**の者

③志願者は、本学の学校推薦型選抜に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者

※この区分は「大学入学共通テスト」で受験を要する教科・科目の合計得点率を合否判定に利用する。(詳しくは29ページの選抜方法を参照)

○1校当たりの推薦できる人数

1校（分校を含む）につき**3名以内**とする。

※同一校内に複数の課程（全日制、定時制、通信制）がある場合においても同様とする。

II. 離島看護師特別枠

①～⑥のすべてに該当する者

①長崎県内の高等学校*¹又は専修学校の高等課程を令和7年3月卒業見込みの者

（※1）高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該過程を含みます。

（※2）地域を離島部に限定しない

②人物・学力ともに優秀で、高等学校*¹又は専修学校の高等課程の長が責任をもって推薦できる者

③看護学科に対し適性を有し、離島医療を担う看護師として、長崎県の離島医療に貢献することを志す者

④長崎県病院企業団の離島の病院（五島中央病院、上五島病院、対馬病院、壱岐病院）の修学資金の貸与を受けることを確約できる者

※修学資金の貸与を受けることを前提とした長崎県病院企業団企業長（若しくは長崎県病院企業団の離島の病院長）の推薦書を出願書類と併せて提出すること。

※修学資金の貸与については、別途長崎県病院企業団への申請が必要です。

詳細については、下記（注）に記載している連絡先にお問い合わせください。

※長崎県病院企業団への申請期間は次のとおりですので、注意してください。

申請期間：令和6年8月19日（月）～令和6年9月20日（金）

※修学資金を貸与した離島病院に貸与期間の1.5倍（1年未満は切上げ）以上にわたり在職した場合は、修学資金の返還が免除されます。

⑤志願者は、本学の学校推薦型選抜（離島看護師特別枠）に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者

⑥調査書の全体の学習成績の状況が**3.8以上**である者

※この区分は「大学入学共通テスト」で受験を要する教科・科目の合計得点率を合否判定に利用する。（詳しくは29ページの選抜方法を参照）

（注）【離島看護師特別枠】修学資金貸与

長崎県病院企業団等の修学資金について

出願要件となる修学資金の貸与に関するお問い合わせ先は、以下のとおりです。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ・長崎県病院企業団本部 総務部総務人事班 | T E L 095-825-2255 |
| ・長崎県五島中央病院 総務課総務係 | T E L 0959-72-3181 |
| ・長崎県上五島病院 総務課総務係 | T E L 0959-52-3000 |
| ・長崎県対馬病院 総務課総務係 | T E L 0920-54-7111 |
| ・長崎県壱岐病院 総務課総務係 | T E L 0920-47-1131 |

○1校当たりの推薦できる人数

1校（分校を含む）につき**2名以内**とする。

※同一校内に複数の課程（全日制、定時制、通信制）がある場合においても同様とする。

2) 栄養健康学科

①～③のすべてに該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校^{*1}又は専修学校の高等課程の長が責任を持って推薦できる者

(※1) 高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該過程を含みます。

①長崎県内の高等学校^{*1}又は専修学校の高等課程を令和7年3月卒業見込みの者

②調査書の全体の学習成績の状況が**3.8以上**の者

③志願者は、本学の学校推薦型選抜に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者

※この区分は「大学入学共通テスト」で受験を要する教科・科目の合計得点率を合否判定に利用する。(詳しくは29～30ページの選抜方法を参照)

○1校当たりの推薦できる人数

1校(分校を含む)につき**3名以内**とする。

※同一校内に複数の課程(全日制、定時制、通信制)がある場合においても同様とする。

4. 出願手続

(1) 出願登録期間・検定料支払期限・出願書類提出期限

出願登録期間	検定料 支払期限	出願書類 提出期限
令和6年11月1日(金)～ 令和6年11月8日(金) 17:00まで	令和6年11月8日(金) 17:00まで	令和6年11月8日(金) 消印有効

(2) 出願方法

■志願者

①長崎県立大学ホームページにアクセスし「インターネット出願はこちら」から出願してください。

<https://sun.ac.jp/>

※Post@netのログイン画面より「新規登録」ボタンから、アカウントを作成してください。

※Post@netの本学のページに掲載の『はじめに』をよく確認してください。

※《アカウント作成 ⇒ 出願登録 ⇒ 検定料の支払い ⇒ 出願書類の提出》で出願手続が完了します。

②出願書類等は、検定料支払後にダウンロードが可能になる【封筒貼付宛名シート】を貼り付けた角2封筒に入れてください。

■学校長

①志願者全員の封筒を取りまとめて新たな封筒に入れ、本学が指定する出願先へ郵送又は持参してください。

※志願者1名の場合も学校でとりまとめてください。

②郵送の場合は、必ず「簡易書留・速達」としてください。また、封筒の表面に「学校推薦型選抜出願書類〇名分在中」と朱書きし、裏面には学校名及び住所を記入してください。

③持参の場合の受付時間は、平日の9時から17時までとします。

(3) 出願先

経営学部 (経営学科、国際経営学科) 地域創造学部 (公共政策学科、実践経済学科)	〒858-8580 長崎県佐世保市川下町123番地 長崎県立大学佐世保校 学生支援課学生グループ
国際社会学部 (国際社会学科) 情報システム学部 (情報システム学科、情報セキュリティ学科) 看護栄養学部 (看護学科、栄養健康学科)	〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1 長崎県立大学シーボルト校 学生支援課学生グループ

(4) 出願書類等

出願書類は、「インターネット出願システムから印刷するもの」と、「志願者が各自で準備するもの」があります。

○インターネット出願システムから印刷するもの

※検定料の支払い後に、「インターネット出願 入金完了」メールが届いたら、Post@net にログインし、「出願内容一覧」から長崎県立大学の『出願内容を確認』にアクセスして、【出願確認票(入金済)】、【封筒貼付用宛名シート】をダウンロードし、ページの拡大・縮小はせずにA4サイズの下紙に印刷してください。

出願書類等	摘 要
令和7年度 長崎県立大学 出願確認票 【入金済】 <全学部>	①出願内容、志願者情報に間違いがないか確認してください。 ②必ず【入金済】と記載された出願確認票を利用してください。 ※【未入金】と記載された出願確認票は志願者本人、保護者、高校教員等の確認用に利用し、大学に郵送しないでください。
封筒貼付用 宛名シート <全学部>	①出願内容、志願者情報に間違いがないか確認してください。 ②カラーまたは2色刷りで印刷してください。 ③出願書類は宛名シートを貼り付けた市販の角2封筒(240mm×332mm)に入れ封をしてください。封筒の色は問いません。 ※封筒貼付用宛名シートが出力できない場合は、直接封筒に以下の内容を記入してください。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ・入試区分 ・学部・学科 ・区分・出願要件 ・出願登録番号 ・志願者情報(フリガナ、氏名) ・高等学校情報(高等学校等名、担当教員名、電話番号) ・『入試出願書類在中』(朱書き) </div> ※学校とりまとめ用の宛名シートはありません。

○志願者が各自で準備するもの

※本学所定の様式は、必ず最新の様式をダウンロードしてご利用ください。

出願書類等	摘 要
推薦書 ＜全学部＞	①本学所定の様式により、学校長が作成し、厳封したもの。 ②本学HP（入試情報／学部入試／学校推薦型選抜）からダウンロードし作成してください。なお、作成する場合は必ず 両面印刷 をしてください。 ※データ入力可 ※押印不要 ③公共政策学科【県内離島高校区分】と公共政策学科県内高校区分を併願する場合も「推薦書」は1通のみ提出してください。
調査書 ＜全学部＞	①文部科学省所定の様式により、学校長が作成し、厳封したもの。 ②公共政策学科【県内離島高校区分】と公共政策学科県内高校区分を併願する場合も「調査書」は1通のみ提出してください。 ※被災その他の事情により調査書が得られない場合には、志望学部の学生支援課学生グループに申し出てください。
志望理由書 ＜公共政策学科 ※県内離島高校区分 志願者のみ＞ ＜国際社会学部＞ ＜情報システム学部＞ ＜看護栄養学部＞	①本学HPから所定の様式をダウンロードし、志願者本人が記入してください。 ②国際社会学部は活動記録書があります。 ※データ入力可 ※両面で印刷すること。
離島看護師特別枠 推薦書 ＜看護学科＞ ※離島看護師特別枠 志願者のみ	修学資金の貸与を受けることを前提とした長崎県病院企業団企業長（若しくは長崎県病院企業団の離島の病院長）の推薦書
自己推薦書 ＜公共政策学科 ※県内離島高校区分 志願者のみ＞	本学HPから所定の様式をダウンロードし、志願者本人が記入してください。 ※データ入力可
検定試験関係書類 ※該当者のみ	資格・検定試験の要件で出願する者は、合格証又はスコアの写し（可能な限りA4サイズ、モノクロ）を添付してください。なお、出願時点で合格又は出願要件となるスコアを満たすことが確定しているが証書等が未着の場合、志望学部の学生支援課学生グループまでご連絡ください。 合格証の写し・・・日本商工会議所主催簿記検定試験 2級以上 日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定 2級以上 全国商業高等学校協会主催検定試験第1級 情報処理技術者試験レベル1（ITパスポート試験） 情報処理技術者試験レベル2（基本情報技術者試験又は情報セキュリティマネジメント試験） 全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験第1級 中国語検定（中検）4級以上 スコアの写し・・・ケンブリッジ英語検定 実用英語技能検定 GTEC (Core, Basic, Advanced, CBT) IELTS TEAP TEAP CBT TOEFL iBT TOEIC L&R HSK（2010年度以降受験） TECC 公開試験スコア

(5) 出願上の注意事項

- ① 国立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）への出願は、一つの大学・学部のみです。なお、本学看護学科学校推薦型選抜内での併願はできません。また、本学学校推薦型選抜と、本学経営学部経営学科総合型選抜との併願もできません。
- ② 「外国語」の『英語』を受験する者は、リスニングを必ず受験してください。ただし、大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。
- ③ 出願書類の記入に当たっては、楷書で正しく明確に記入してください。また、黒色のボールペンで記入してください。
- ④ 出願書類作成にあたっては、生成AI等による自動生成を利用しないでください。
- ⑤ 出願書類がすべてそろっていない場合には受付できませんので、出願の際には十分確認してください。
- ⑥ 出願書類郵送後の記入事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、志望学部の受付を行う学生支援課学生グループに連絡してください。
- ⑦ 入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。
- ⑧ 一度受理した出願書類は返却しません。
- ⑨ 既納の検定料は、次に該当する場合のみ返還します。
 - (ア) 出願書類を提出しなかった場合
 - (イ) 出願が受理されなかった場合
 - (ウ) 二重に振り込んだ場合
 - (エ) 公共政策学科【県内離島高校区分】と公共政策学科県内高校区分を併願し、【県内離島高校区分】に合格した場合

※上記理由による当該検定料相当額の返還の申し出は、出願期間の最終日から40日以内とします。

(6) 受験票の準備

出願書類の受理、検定料の入金が確認されると、選抜期日の7日前を目途に「デジタル受験票ダウンロード指示メール」が届きます。メールが届いた後、Post@netにログインし、「出願内容一覧」から長崎県立大学の『出願内容を確認』にアクセスして「デジタル受験票」をダウンロードし、印刷して、大切に保管してください。受験票は受験時に必要ですので、必ず持参してください。

※選抜期日の7日前までにメールが届かない場合は、志望学部の学生支援課学生グループまでご連絡ください。

(7) 受験上の配慮

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、令和6年10月15日（火）までに、学生支援課学生グループに申し出てください。

なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる出身学校関係者との面談や医師の診断書等の提出をお願いすることがあります。

(8) 併願をする際の注意事項 ※地域創造学部公共政策学科（県内離島高校区分）のみ

県内離島高校区分と公共政策学科県内高校区分を併願する者は、公共政策学科県内高校区分での選抜に「大学入学共通テスト」を利用しますので、27ページの「③選抜方法及び大学入学共通テストの利用教科・科目等の配点」を参照し、所定の教科・科目を受験してください。

5. 選抜方法等

(1) 経営学部

①選抜期日・試験時間等

経営学科／国際経営学科

科目等	選抜期日	試験時間
小論文 (経営学科)	令和6年11月23日(土・祝)	10:00～11:30(90分)
英語 (国際経営学科)		
面接	長崎県外高等学校区分： 令和6年11月23日(土・祝)	13:00～17:00(予定)
	長崎県内高等学校区分： 令和6年11月24日(日)	10:00～12:00(予定)
		13:00～17:00(予定)

※9時00分から9時40分までに試験室に入室し、待機してください。

※面接試験は試験開始時刻までに、決められた面接控室に入室し、待機してください。

なお、面接試験開始時に不在であった場合には、欠席したものと取り扱います。

※長崎県内高等学校区分の面接試験時間は、午前・午後どちらに該当するかを令和6年11月20日までに本学ホームページに掲載しますので、受験番号と面接試験時間を確認のうえ受験してください。

なお、長崎県内の離島(離島振興法に規定する地域)の高等学校に在籍する受験者の面接試験開始時刻は、原則として、令和6年11月24日(日)10時とします。

②科目等の配点

学科	小論文	英語	面接	合計
経営	100点	—	25点	125点
国際経営	—	100点	25点	125点

③選抜方法及び大学入学共通テストの利用教科・科目等の配点

■経営学科

提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。

■国際経営学科(出願要件③(ア)に該当する者)

第1次選考：提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する個別学力検査(英語)、面接の結果を総合して判定する。

最終選考：第1次選考合格者のうち、大学入学共通テストにおいて、『英語』(200点満点)の得点率が原則として65%以上であった者を最終合格者とする。ただし、大学入学共通テストにおいて、受験した科目が定められた条件を満たさない場合は、選考の対象としない。

大学入学共通テスト（5教科6科目）							
教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報
出題科目	『国語』	『地理総合、地理探求』 『歴史総合、日本史探求』 『歴史総合、世界史探求』 『地理総合／歴史総合／公民』 から1科目	『公共、倫理』 『公共、政治・経済』	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』 から1科目	『英語』	

※大学入学共通テストの利用方法について

「外国語」の『英語』は、リーディング100点満点とリスニング100点満点の合計得点200点満点とする。また、受験者は、リスニングを必ず受験すること。ただし大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除く。なお、リスニングの免除を許可された者については、リーディング（100点満点）を200点満点に換算する。

■国際経営学科（出願要件③（イ）に該当する者）

提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する個別学力検査（英語）、面接の結果を総合して選抜する。

④試験会場

長崎県立大学佐世保校 長崎県佐世保市川下町123番地

(2) **地域創造学部**

①選抜期日・試験時間等

■公共政策学科（県内離島高校区分）

科目等	選抜期日	試験時間
小論文	令和6年11月16日（土）	10:00～11:30（90分）
集団面接 集団討論		13:00～17:00（予定）

※9時00分から9時40分までに試験室に入室し、待機してください。

※面接試験（集団面接・集団討論）は試験開始時刻までに、決められた面接控室に入室し、待機してください。

なお、面接試験開始時に不在であった場合には、欠席したものと取り扱います。

■公共政策学科（県内離島高校区分除く）／実践経済学科

科目等	選抜期日	試験時間
小論文 （実践経済学科 （県内商業科等区分））	令和6年11月23日（土・祝）	10:00～11:30（90分）
面接	長崎県外高等学校区分及び 実践経済学科（県内商業科等区分）： 令和6年11月23日（土・祝）	13:00～17:00（予定）
	長崎県内高等学校区分： 令和6年11月24日（日）	10:00～12:00（予定） 13:00～17:00（予定）

※実践経済学科（県内商業科等区分）の受験者は9時00分から9時40分までに試験室に入室し、待機してください。

※面接試験は以下の時刻までに、決められた面接控室に入室し、待機してください。

なお、面接試験開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
 (公共政策学科・実践経済学科(県内商業科等区分を除く)の受験者は**面接のみ実施**)
 県内商業科等区分(実践経済学科)

11月23日(土・祝)試験開始時刻(13時00分)まで
 県外高等学校区分

11月23日(土・祝)12時00分から12時40分
 県内高等学校区分(面接試験開始時刻10時に該当する場合)

11月24日(日)9時00分から9時40分
 県内高等学校区分(面接試験開始時刻13時に該当する場合)

11月24日(日)12時00分から12時40分
 ※長崎県内高等学校区分(実践経済学科県内商業科等区分を除く)の面接試験時間は、いずれに
 該当するかを令和6年11月20日までに本学ホームページに掲載しますので、受験番号と面
 接試験時間を確認のうえ受験してください。

なお、長崎県内の離島(離島振興法に規定する地域)の高等学校に在籍する受験者の面接試験
 開始時刻は、原則として、令和6年11月24日(日)10時とします。

②科目等の配点

学科	区分	小論文	面接	大学入学 共通テスト	合計
公共政策	県内離島高校区分を 除くすべての区分	—	200点	425点	625点
	県内離島高校区分	100点	100点*	—	200点
実践経済	県内商業科等区分を 除くすべての区分	—	200点	700点	900点
	県内商業科等区分	100点	50点	—	150点

※公共政策学科(県内離島高校区分)の面接試験は、集団面接及び集団討論

③選抜方法及び大学入学共通テストの利用教科・科目等の配点

■公共政策学科(県内離島高校区分を除く全ての区分)

提出された推薦書、調査書等の出願書類、大学が実施する面接及び大学入学共通テストの成績
 を総合して選抜する。ただし、大学入学共通テストにおいて、受験した科目が定められた条件を
 満たさない場合は、選考の対象としない。

大学入学共通テスト(5教科6科目)								個別学力検査等	合計
教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報		
出題 科目	『国語』	『地理総合, 地理探求』 『歴史総合, 日本史探求』 『歴史総合, 世界史探求』 『地理総合/歴史総合/公共』 から1科目	『公共,倫理』 『公共, 政治・経済』	『数学Ⅰ,数学A』 『数学Ⅱ,数学B, 数学C』		『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	『情報Ⅰ』	面接 (調査書等 の出願書類を 参考に、本学進 学の目的意 識,学習意 欲,社会経済 への関心度等 を評価する。)	
配点	100	100		100		100	25	200	625

※注意事項:大学入学共通テストの利用方法について

- ・「国語」、「数学」及び「外国語」は200点満点を100点満点に換算する。なお、「外国語」の『英語』は、
リーディング100点満点を75点満点に換算、リスニング100点満点を25点満点に換算し、合計得点
100点満点とする。なお、「情報Ⅰ」は、100点満点を25点満点に換算する。
- ・「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。

※「外国語」の『英語』を受験する者は、リスニングを必ず受験すること。ただし大学入試センターにおいて審
 査の上、リスニングの免除を許可された者を除く。なお、リスニングの免除を許可された者については、リー
 ディング(100点満点)のみを用いる。

■公共政策学科（県内離島高校区分）

提出された推薦書、調査書等の出願書類、大学が実施する小論文、集団面接及び集団討論の結果を総合して選抜する。

■実践経済学科（県内商業科等区分を除く全ての区分）

提出された推薦書、調査書等の出願書類、大学が実施する面接及び大学入学共通テストの成績を総合して選抜する。ただし、大学入学共通テストにおいて、受験した科目が定められた条件を満たさない場合は、選考の対象としない。

大学入学共通テスト（6教科7科目）								個別学力検査等	合計
教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報		
出題科目	『国語』	『地理総合、地理探求』 『歴史総合、日本史探求』 『歴史総合、世界史探求』 『地理総合／歴史総合／公共』 から1科目	『公共、倫理』 『公共、政治・経済』	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』 から1科目	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	『情報Ⅰ』	面接（調査書等の出願書類を参考に、本学進学のための目的意識、学習意欲、社会経済への関心度等を評価する。）	900
配点	100	100		200	50	200	50	200	900

※注意事項：大学入学共通テストの利用方法について

- ・「国語」は200点満点を100点満点、「理科」は100点満点を50点満点に換算する。なお、「外国語」の『英語』は、リーディング100点満点を150点満点に換算、リスニング100点満点を50点満点に換算し、合計得点200点満点とする。なお、「情報Ⅰ」は、100点満点を50点満点に換算する。
- ・「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。
- ・「理科」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。

※「外国語」の『英語』を受験する者は、リスニングを必ず受験すること。ただし大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除く。なお、リスニングの免除を許可された者については、リーディング（100点満点）を200点満点に換算する。

■実践経済学科（県内商業科等区分）

提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。

④試験会場

長崎県立大学佐世保校 長崎県佐世保市川下町123番地

(3) 国際社会学部・情報システム学部

①選抜期日・試験時間等

科目等	選抜期日	試験時間
小論文	令和6年11月23日（土・祝）	10:00～11:30（90分）
面接		12:30～17:00（予定）

※小論文試験は8時30分から9時40分までに指定された教室に入室し、着席してください。

※面接試験は試験開始時刻までに、決められた面接控室に入室し、待機してください。

なお、面接試験開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。

②科目等の配点

学科	小論文	面接	合計
国際社会	80点	20点	100点
情報システム	75点	25点	100点
情報セキュリティ	50点	50点	100点

③選抜方法

提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。

④試験会場

長崎県立大学シーボルト校 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1

(4) **看護栄養学部**

①選抜期日・試験時間等

科目等	選抜期日	試験時間
小論文 (栄養健康学科のみ)	令和6年11月23日(土・祝)	10:00～11:30(90分)
面接		12:30～17:00(予定)

※栄養健康学科の受験者は、8時30分から9時40分までに指定された教室に入室し、着席してください。

※面接試験は以下の時刻までに、決められた面接控室に入室し、待機してください。
なお、面接試験開始時に不在であった場合には、欠席したものと取り扱います。

(看護学科の受験者は**面接のみ実施**)

栄養健康学科 試験開始時刻(12時30分)まで
看護学科 11時40分から12時15分まで

②科目等の配点

学科	小論文	面接	合計
看護(離島看護師特別枠を含む)	—	100点	100点
栄養健康	100点	100点	200点

③選抜方法及び大学入学共通テストの利用教科・科目等の配点

■看護学科(離島看護師特別枠を含む)

第1次選考: 提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する面接の結果を総合して判定する。

最終選考: 第1次選考合格者のうち、大学入学共通テストで受験を要する教科・科目の合計得点率が原則として55%以上であった者を最終合格者とする。ただし、大学入学共通テストにおいて、受験した科目が定められた条件を満たさない場合は、選考の対象としない。

大学入学共通テスト（6教科7科目）								
教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	
出題科目	『国語』	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『地理総合／歴史総合／公共』 から1科目	『公共、倫理』 『公共、政治・経済』	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 から1科目	『英語』	『情報Ⅰ』	
配点	100	50		100	50	100	10	
							合計	410

※注意事項:大学入学共通テストの利用方法について

- ・「国語」、「数学」は200点満点を100点満点、「地理歴史・公民」、「理科」は100点満点を50点満点に換算する。また、「外国語」の『英語』は、リーディング100点満点を75満点に換算、リスニング100点満点を25点満点に換算し、合計得点100点満点とする。なお、「情報Ⅰ」は100点満点を10点満点に換算する。
 - ・「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。
 - ・「理科」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。
 - ・『地理総合／歴史総合／公共』は1出題科目で、3つの出題範囲から2つを選択解答する。
 - ・『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は1出題科目で、4つの出題範囲から2つを選択解答する。
- ※「外国語」の『英語』は、リスニングを必ず受験すること。ただし大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除く。なお、リスニングの免除を許可された者については、リーディング（100点満点）のみを用いる。

■栄養健康学科

第1次選考：提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して判定する。

最終選考：第1次選考合格者のうち、大学入学共通テストで受験を要する教科・科目の合計得点率が原則として50%以上であった者を最終合格者とする。ただし、大学入学共通テストにおいて、受験した科目が定められた条件を満たさない場合は、選考の対象としない。

大学入学共通テスト（6教科7科目）								
教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	
出題科目	『国語』	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『地理総合／歴史総合／公共』 から1科目	『公共、倫理』 『公共、政治・経済』	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』 から1科目	『英語』	『情報Ⅰ』	
配点	200	100		200	200	200	20	
							合計	920

※注意事項:大学入学共通テストの利用方法について

- ・「理科」は100点満点を200点満点に換算する。また、「外国語」の『英語』は、リーディング100点満点を150点満点に換算、リスニング100点満点を50点満点に換算し、合計得点200点満点とする。なお、「情報Ⅰ」は100点満点を20点満点に換算する。
 - ・「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。
 - ・「理科」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。
 - ・『地理総合/歴史総合/公共』は1出題科目で、3つの出題範囲から2つを選択解答する。
 - ・『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は1出題科目で、4つの出題範囲から2つを選択解答する。
- ※「外国語」の『英語』は、リスニングを必ず受験すること。ただし大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除く。なお、リスニングの免除を許可された者については、リーディング(100点満点)を200点満点に換算する。

④試験会場

長崎県立大学シーボルト校 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1

(5) 受験上の注意事項

- ①小論文(国際経営学科は英語)試験開始後は、20分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。面接試験は、定められた時刻までに、決められた面接控室に集合し、待機してください。※面接試験開始時に不在であった場合は、欠席したものとして取り扱います。
- ②本学が指定した科目等のいずれか一つでも受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- ③当日は、受験票を必ず持参してください。
- ④受験票を忘れた者は、試験場所定の仮受験票発行受付で仮受験票の交付を受けてください。また、受験票は、入学手続の際に必要なため、試験後も大切に保管してください。
- ⑤筆記試験の実施時に、受験票を試験監督者が見えるよう机の上に置いてください。
- ⑥筆記試験の試験時間中に使用を許可するものは、黒鉛筆(和歌・格言等が印刷されているものは不可)、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類は不可)、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可)、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけ取り出したもの)に限ります。これ以外の所持品を使用または置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。
- ⑦試験室内での発言は、必ず挙手をして、監督者の許可を得て行ってください。
- ⑧試験時間内の退室は認めません。なお、発病等やむを得ない場合は、挙手をして監督者の指示に従ってください。
- ⑨携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切り、かばん等に入れてください。
- ⑩試験室内で英文字、地図等がプリントされている衣服等、試験実施に影響を与えるものを着用している場合は、必要に応じ脱衣等の指示に従っていただきます。
- ⑪試験時間中は、受験者間の物品の貸借は一切認めません。
- ⑫面接試験終了時間は未定です。公共交通機関や宿泊所の利用については、十分注意して予約等を行ってください。
- ⑬試験場では昼食の販売は行いませんので、各自持参してください。
- ⑭試験場には、受験者用駐車場がありませんので、公共交通機関を利用してください。
- ⑮試験前日の午後限り試験場の下見はできますが、建物内への立ち入りはできません。
- ⑯その他必要な事項が生じた場合には、志願者情報に登録されたメールアドレス又は大学のホームページから通知します。

(6) 不正行為

- ①次のことをすると不正行為となります。
 - ・出願確認票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入(インターネット出願の際、本人以外の写真を使用することや、解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。)をすること。
 - ・カンニング(試験に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。)をすること。
 - ・他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - ・配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - ・解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ・「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。

- ・試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。(試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。)
- ・「解答やめ。鉛筆を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- ②上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。
 - ・試験時間中に使用を許可するもの以外や、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に着けていたり手に持っていること。
 - ・試験時間中に携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など。)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - ・試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
 - ・試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ・試験場において監督者等の指示に従わないこと。
 - ・その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
- ③不正行為をした者及び監督者の指示に従わない者は、直ちに退場させます。その場合は、以後の受験はできなくなるとともに、受験した試験の成績は無効とします。なお、極めて悪質な不正行為を行った場合は、警察に被害届を提出する場合があります。

6. 合格発表

(1) 合格発表日

経営学部 経営学科・国際経営学科(出願要件③(イ)に該当する者)

地域創造学部 公共政策学科(県内離島高校区分)・実践経済学科(県内商業科等区分)

国際社会学部・**情報システム学部**

令和6年12月2日(月)10時

※公共政策学科(県内離島高校区分)受験者については、令和6年11月20日(水)夕方に受験者が所属する学校長あてに受験結果を通知します。

地域創造学部 公共政策学科(県内離島高校区分を除く全ての区分)・実践経済学科(県内商業科等区分を除く全ての区分)

令和7年2月12日(水)10時

経営学部 国際経営学科(出願要件③(ア)に該当する者)

看護栄養学部

【第1次選考】令和6年12月2日(月)10時

【最終選考】令和7年2月12日(水)10時

(2) 合格発表方法

- ①インターネット出願システム Post@net へログインし「出願内容一覧」より長崎県立大学の「合否結果照会」を選択してください。
- ②受験内容を確認し間違いなければ「合否照会」をクリックし、合否結果を確認してください。
- ③書面での「第1次選考結果通知書」及び「合格通知書」は発送しません。必要に応じて「第1次選考結果通知書ダウンロード」または「合格通知書ダウンロード」より通知書をダウンロード(PDFファイル)し、各自印刷してください。

※Post@netによる照会期間

1. **経営学部** 経営学科・国際経営学科(出願要件③(イ)に該当する者)

地域創造学部 公共政策学科(県内離島高校区分)・実践経済学科(県内商業科等区分)

国際社会学部・**情報システム学部**

合格発表日から令和6年12月11日(水)17時まで

II. **地域創造学部** 公共政策学科（県内離島高校区分を除く全ての区分）・実践経済学科（県内商業科等区分を除く全ての区分）

合格発表日から令和7年 2月19日（水） 17時まで

III. **経営学部** 国際経営学科（出願要件③（ア）に該当する者）

看護栄養学部

【第1次選考】合格発表日から令和6年12月11日（水） 17時まで

【最終選考】合格発表日から令和7年 2月19日（水） 17時まで

④合格者は、「ファイルダウンロード」より書類をダウンロード（PDFファイル）してください。

⑤電話等による問い合わせには応じません。

※Post@netの「合否結果照会」ページにおける誤操作・見間違い・使用機器の不具合・通信障害等を理由とした入学手続期間の延長は認められませんので、十分注意してください。

⑥受験者が在籍する学校長あてに受験結果通知書を発送します。

7. 入学手続

(1) 入学手続期間

経営学部 経営学科・国際経営学科（出願要件③（イ）に該当する者）

地域創造学部 公共政策学科（県内離島高校区分）・実践経済学科（県内商業科等区分）

国際社会学部・**情報システム学部**

令和6年12月3日（火）～12月11日（水） 必着

経営学部 国際経営学科（出願要件③（ア）に該当する者）

地域創造学部 公共政策学科（県内離島高校区分を除く全ての区分）・実践経済学科（県内商業科等区分を除く全ての区分）

看護栄養学部

令和7年2月13日（木）～2月19日（水） 必着

(2) 入学手続先

経営学部 地域創造学部	〒858-8580	長崎県佐世保市川下町123番地 長崎県立大学佐世保校 学生支援課学生グループ
国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部	〒851-2195	長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1 長崎県立大学シーボルト校 学生支援課学生グループ

(3) 入学手続方法

- ①入学手続の詳細及び必要な書類は、郵送します。
- ②提出書類は、郵送又は大学窓口へ直接持参してください。
- ③郵送の場合は、必ず「簡易書留・速達」とし、入学手続期間内必着とします。
- ④持参の場合の受付時間は、平日の9時から17時までとします。
- ⑤一度受理した入学手続書類は返還しません。

(4) 留意事項

- ①学校推薦型選抜の合格者が入学を辞退することは基本的に認められませんが、特別の事情がある場合は、推薦した学校長が連署し、理由を付した「推薦入学辞退願」（任意様式）を令和6年12月11日（水）*17時まで（必着）に本学学長あてに提出してください。
※国際経営学科（出願要件③（ア）に該当する者）、公共政策学科（県内離島高校区分を除く全ての区分）、実践経済学科（県内商業科等区分を除く全ての区分）、看護学科及び栄養健康学科については、令和7年2月19日（水）17時まで（必着）に提出してください。
- ②学校推薦型選抜に合格し、入学手続を行った者は、入学辞退の許可を得た場合を除き本学及び他の国公立大学の一般選抜（前期・中期・後期日程試験。ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）を受験しても合格者にはなりません。
- ③学校推薦型選抜の合格者で、令和6年12月11日（水）*までに入学手続を完了しない者は、合格者としての権利を消失します。更に、前記①に該当する場合を除き、出願済の国公立大学・学部を受験しても、その大学の合格者とはなりません。（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）

※国際経営学科（出願要件③（ア）に該当する者）、公共政策学科（県内離島高校区分を除く全ての区分）、実践経済学科（県内商業科等区分を除く全ての区分）、看護学科及び栄養健康学科については、令和7年2月19日（水）まで。

④本選抜による合格者及び入学手続者の個人情報（氏名、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号のみ）は、国公立大学の一般選抜における合格者決定業務を円滑に行うために、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

⑤経営学部※、地域創造学部※、国際社会学部及び情報システム学部の入学手続完了者に対しては、入学前教育を実施します。

※経営学部（経営学科）及び地域創造学部については、大学入学共通テストの受験を課された者を除きます。

8. 初年度納付金等 《保護者の方にも事前に確認してもらってください》

(1) 入学料

入学手続の際には、下記の金額の入学料を納付する必要があります。

①県内生 176,500円

②県外生 353,000円

（注1）「県内生」とは、本人又はその配偶者若しくは一親等の血族が、令和6年4月1日から引き続き長崎県内に住所を有する者をいいます。「県外生」とは、「県内生」以外の者をいいます。

（注2）入学料の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

（注3）入学料は、入学手続期間内に納付してください。

（注4）既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

(2) 授業料

前 期	後 期	年 額
267,900円	267,900円	535,800円

（注1）授業料の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

（注2）授業料は入学後に納付していただきます。詳細については、入学手続書類とともに送付します。

（注3）在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(3) その他納付金

学 部	後援会費	同窓会費	学生自治会費	学生保険料
経 営 地域創造	50,000円	22,000円	33,000円	4,660円
国際社会 情報システム 看護栄養	50,000円	10,000円	29,500円	4,660円～

（注）その他納付金の金額は現行の規定によるもので、変更になることがあります。

(4) 初年度納付金以外の経費（参考）【令和6年9月時点】

入学料、授業料及び教材費その他納付金以外に、1年次又は2年次以降に次の経費が必要となります。（納付時期等の詳細については入学後に説明します。）

①進級、卒業要件に係る資格試験等受験料

- ・TOEIC IP 3,130円/回 ・TOEIC 公開テスト（団体申込の場合）6,710円/回
- ・中国語検定（中検）3級 5,800円/回 2級 7,800円/回
- ・日経 TEST（企業・団体試験）4,400円~/回
- ・日商簿記検定2級 5,500円/回
- ・FP技能検定2級 5,700円/回（学科試験）・6,000円/回（実技試験）
- ・販売士検定 2級 6,600円/回
- ・ニュース時事検定2級 5,300円/回
- ・ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験 7,500円/回

・CG-ARTS 検定（エキスパート）6,200 円／回（学内受験の場合）

※要件に達するまでの費用がかかります。

②必修となる研修、課外講座等の費用（参考：海外研修については渡航した場合）

・経営学部 国際経営学科

海外語学研修（1年次） 約300,000円～

海外ビジネス研修（3年次） 約250,000円～約350,000円（場所、期間により異なります）

・地域創造学部 インターンシップ等の実践科目において、交通費等の実費がかかります。

・国際社会学部 国際社会学科

海外語学研修（2年次）【英語】 約400,000円～（場所、期間により異なります）

【中国語】約200,000円～約400,000円（場所、期間により異なります）

③実験、実習等の費用

④入学者全員に一定の基準にあったノート型パソコンを準備していただきます。

（詳細は入学前に説明します）

（5）その他

①高等教育の修学支援新制度（給付奨学金及び授業料等の減免（本学は対象校として認定されています））

本制度は住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学部生（留学生を除く）に対して、日本学生支援機構の給付奨学金の支給及び大学の入学料と授業料を減免することにより支援する制度です。採用された給付奨学金の支援区分（第Ⅰ～Ⅳ区分）に従い、入学料及び授業料について全額、2/3 の額、1/3 の額、1/4 の額が免除されます。

②貸与奨学金

独立行政法人日本学生支援機構が貸与する奨学金には、第一種奨学金（無利子貸与）と第二種奨学金（有利子貸与）があり、その貸与月額、次表のとおりです。第二種奨学金は、貸与終了時に決定した利息がつきます（上限率3%）。この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

種 類	貸 与 月 額（令和6年度実績）	
	自宅通学者	自宅外通学者
第一種奨学金 ※申込時における家計支持者の収入・所得金額によって、選択できる月額に制限があります。	20,000円、30,000円 45,000円 （3種類から選択）	20,000円、30,000円 40,000円、51,000円 （4種類から選択）
第二種奨学金	20,000円～120,000円（1万円単位）の金額内で 選択可能	

※ 給付奨学金と併せて第一種奨学金を利用する場合、給付奨学金の支給を受けている期間中に受けることができる第一種奨学金の月額に制限があります。

③下宿・アパートについては、本学大学生活協同組合で相談に応じます。

TEL 佐世保校 0956-48-3732

シーボルト校 095-887-5552

9. 入試情報の開示

(1) 個人成績の照会

インターネット出願システムを通じて、成績結果を確認できます。

①照会期間 令和7年5月7日（水）から5月30日（金）まで

②照会内容 試験の得点及び順位

③照会方法

Post@net へログインし「出願内容一覧」より長崎県立大学の「合否結果照会」を選択します。
受験内容を確認し間違いなければ「合否照会」をクリックして、成績結果を確認してください。

(2) 入試状況

本学HP（入試情報／学部入試／過去の入試情報／入試状況）に掲載しています。

10. 評価・合否判定基準

(1) 評価基準等

学部	学科・区分	科目等	評価基準	配点
	経営	小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。	100点
		面接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。	25点
経営	(出願要件③(ア))	第1次選考 英語	高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価する。	100点
		第1次選考 面接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。	25点
	最終選考	大学入学共通テスト	『英語』により、基礎学力を把握する。 (※ 上記に加えて、「国語」、「地理歴史・公民」、「数学」、「理科」については、定められた条件での受験が必要)	200点
	(出願要件③(イ))	英語	高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、表現力等を評価する。	100点
面接		調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。	25点	
	国際経営			

学部	学科・区分		科目等	評価基準	配点
地域 創造	公共 政策	県内離島 高校区分 を除く全 ての区分	面接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。	200 点
			大学入学 共通テスト	「国語」、「地理歴史・公民」、「数学」、「外国語」、「情報」により、基礎学力を把握する。	425 点
		県内離島 高校区分	小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等々を評価する。	100 点
			集団面接 集団討論	集団面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲を個別に確認し、集団討論では積極性、協調性、論題についての理解力から、本学科が提供する専門分野に対する適性などを見極め、総合的に評価する。	100 点
	実践 経済	県内 商業科等 区分を除 く全ての 区分	面接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。	200 点
			大学入学 共通テスト	「国語」、「地理歴史・公民」、「数学」、「理科」、「外国語」、「情報」により、基礎学力を把握する。	700 点
		県内 商業科等 区分	小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等々を評価する。	100 点
			面接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。	50 点
国際 社会	国際社会		小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等々を評価する。	80 点
			面接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。	20 点

学部	学科・区分	科目等	評価基準	配点	
情報システム	情報システム	小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。	75点	
		面接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。	25点	
	情報セキュリティ	小論文	高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価する。	50点	
		面接	調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。	50点	
看護 栄養	看護 (離島看護師 特別枠を含む)	第1次選考	面接	(離島看護師特別枠を除く) 志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、論理的思考力、本学科が提供する専門領域に対する適性等を総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。	100点
			面接	(離島看護師特別枠) 志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、本学科が提供する専門領域に対する適性、離島医療に対する貢献意欲等を総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。	100点
		最終選考	大学入学 共通テスト	「国語」、「地理歴史・公民」、「数学」、「理科」、「外国語」、「情報」により、基礎学力を把握する。	410点
	栄養健康	第1次選考	小論文	課題文読解型(和文及び英文)の小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価する。	100点
			面接	志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価する。 面接は、個人面接を行う。	100点
		最終選考	大学入学 共通テスト	「国語」、「地理歴史・公民」、「数学」、「理科」、「外国語」、「情報」により、基礎学力を把握する。	920点

(2) 合否判定基準

学部	学科・区分		合否判定基準	
経営	経営		①小論文と面接の総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。	
	国際経営	(出願要件③(ア))	第1次選考	①英語と面接の総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。
			最終選考	大学入学共通テストにおいて、『英語』の得点率が原則として65%以上であった者を最終合格者とする。
	(出願要件③(イ))		①英語と面接の総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。	
地域創造	公共政策	県内離島高校区分を除く	①大学入学共通テストの成績と面接の総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。	
		県内離島高校区分	①小論文と集団面接及び集団討論の総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 ②同点の場合は、集団面接及び集団討論の得点が高い者を上位とする。	
	実践経済	県内商業科等区分を除く	①大学入学共通テストの成績と面接の総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。	
		県内商業科等区分	①小論文と面接の総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。	
国際社会	国際社会		①小論文と面接の総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。	
情報システム	情報システム		①小論文と面接の総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。	
	情報セキュリティ		①小論文と面接の総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。	
看護栄養	看護 (離島看護師特別枠を含む)	第1次選考	①面接の得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 ②同点の場合は、同順位とする。	
		最終選考	大学入学共通テストで受験を要する教科・科目の合計得点率が原則として55%以上であった者を最終合格者とする。	
	栄養健康	第1次選考	①小論文と面接の総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 ②同点の場合は、小論文の得点が高い者を上位とする。	
		最終選考	大学入学共通テストで受験を要する教科・科目の合計得点率が原則として50%以上であった者を最終合格者とする。	

1 1. 個人情報の利用

- (1) 出願書類により取得した個人情報は、入学者選抜業務のために利用します。
また、合格者の個人情報は入学手続案内業務のため、入学者の個人情報は学籍登録業務のために利用します。
- (2) 出願書類により取得した高等学校等の成績及び入学試験の成績は、授業料等減免業務、奨学生への推薦業務、教務関係業務及び教育改善・学生支援のために利用することがあります。
- (3) 出願書類により取得した個人情報及び入学試験により取得した個人情報は、入学者選抜に関する統計調査・研究に利用します。